

4-1-6 第二専門診療部

4-1-6-1 外科

1. スタッフ

- (医 長) 本名 敏郎、黒田 達夫
(医 員) 森川 信行、北野 良博、渡辺宏治、寺脇 幹
(レジデント) 川野 孝文、柴田 祐充子
(異 動) 瀧本 康史(平成17年3月 退職)

2. 手術件数など(平成17年3月 日本小児外科学会施設認定委員会報告)

指定疾患総手術件数	783 件
鼠径ヘルニア手術件数	252 件
新生児症例件数	65 件
新生児手術件数	44 件

3. 活動の概況

開院より3年目を迎え、新生児外科症例、悪性腫瘍症例などを中心に先端的な手術例の増加をみた。

重症胎児水腫症例に対して、胎児治療科、産科、麻酔・集中治療科、特殊診療部などとの全病的な連携のもとに症例数の増加を見ている。EXIT 適応症例の検討も行い、17年度に入り実施し、成功を見た。悪性腫瘍に関して、当院で国立小児病院時代より行われて来た進行神経芽腫に対する術中開窓照射併用腫瘍全摘術を継続し、他の進行固形腫瘍についても、幹細胞移植を前提とした大量化療法を併用し、好成績を挙げつつある。

さらに腎臓移植に関しては生体腎移植症例の経験を積み重ねつつあり、腎移植ネットワークからの献腎移植も始まり、特異な分野である小児腎移植の拠点施設の一つとして歩みだしつつある。また肝移植については平成17年度の実施に向けて準備を行いつつある。

鏡視下手術は従来のNissen噴門形成術を中心に脾摘、胃固定などの腹部手術、Nuss法の補助、気胸など胸腔鏡下手術、急性虫垂炎のような緊急手術などのほか、胆嚢摘出術、ヒルシュスプルング病手術、メッケル憩室切除術など適応拡大が図られている。